

柏市観光基本計画の方針（案）

～「つづくを、つなぐ」ため、かしの光を観る～

柏市 経済産業部 商工振興課

①新たな観光基本計画策定の経緯について

- ▶ 平成25年度に柏市観光基本計画を策定
(上位計画：柏市第四次総合計画(H18～H27)・柏市産業振興戦略プラン(H23～H27))
- ▶ 目的は、「市民との協働や関係団体、民間事業者との連携体制を強化し、観光資源の魅力を高めて交流人口・昼間人口を増加させ地域経済を活性化することにより、豊かな生活環境の造成を図ること」
- ▶ 計画の対象期間は、平成26年度からの10年間（令和5年度まで）



今年度をもって計画の期間が満了するため、

柏市としての今後の観光振興政策の道筋を示す

「新たな観光基本計画」の策定が必要

②新たな観光基本計画が必要な理由

- ①観光基本計画はいわゆる「法定計画」ではなく、策定は市町村の任意
- ②柏市は他市町村の宿泊を伴う典型的な観光地とは異なり、「観光地」のイメージもない



そもそも
なぜ必要なのか

《柏市経営戦略方針（柏市第五次総合計画 後期基本計画）》（R3～R7年度）

「第2章分野別方針 経済・活力」より抜粋

「柏駅周辺の交流人口の減少は、地域経済の衰退を招き、店舗の撤退や駅周辺の魅力の減少、街のイメージダウンとなり、更なる交流人口の減少に留まらず、定住人口の減少という負のサイクルにつながります。」

②新たな観光基本計画が必要な理由

柏駅周辺に限らず、
今後人口の減少が見込まれる
中、持続可能な基礎自治体と
して正のサイクル
を生み出すためには、
柏市として
交流人口を増加させる
ことが必要

観光は従来の宿泊型観光のみならず、
価値観が多様化

- ・エコツーリズム
- ・マイクロツーリズム
- ・ロケツーリズム
- ・サイクルツーリズム
- ・その他〇〇ツーリズム...など

柏市としての目的である「**交流人口の増加**」に
向けて、その手段の一つが「観光」となる。
「柏市ならではの観光のあり方」を再構築し、
今後の見通しを体系的にまとめ、市内外に
柏市における観光の考え方を示す必要がある。
そのため、新たに「観光基本計画」を策定する

③上位計画について

柏市第五次総合計画(H28～R7)

柏市の将来都市像

「未来へつづく先進住環境都市・柏
～笑顔と元気が輪となり広がる交流拠点～」

柏市のまちづくりの基本的な目標

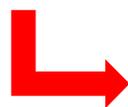
(重点目標) ※抜粋

3 地域の魅力や特性を活かし、人が集う活力あふれるまち

分野別計画 ※抜粋

施策推進のため、重点的に推進する取組

1 新たな魅力を持った中心市街地の実現
3 手賀沼・東部地域の資源活用



柏市産業振興戦略ビジョン
(H31～R7)

※令和4年度に見直しを実施
※観光政策の方向性も見直し



柏市観光基本計画(R6～)

④現計画の特徴について

- ▶ 柏市域において集客・誘客に貢献する全ての要素を「観光資源」と捉えている
- ▶ アンケート調査（市民・来訪者向け）及びヒアリング調査（事業者向け）を実施
- ▶ アンケート調査及びヒアリング調査を踏まえて、柏市全域での取り組むべき事業と4エリア（柏駅周辺エリア、あけぼの山農業公園エリア、手賀沼周辺エリア、柏の葉周辺エリア）ごとに取り組むべき事業を網羅的に記載

⑤現計画の課題について

- ▶ 市の観光政策の方向性を示す役割を果たしてきたものの、全ての要素を「観光資源」と捉えており、また取り組む事業も網羅的であることにより、

⇒ 「柏市らしさ」「柏市として特に力を入れる分野」

が不明瞭

- ▶ 観光施策を打ち出す先のターゲット層の記載がない
- ▶ アンケート調査及びヒアリング調査の結果と取り組むべき事業の因果関係が分かりづらい

⑤現計画の課題について

- ▶ 「誰が、いつ、どのように」実施することを想定している計画が不明
- ▶ 令和元年度までフォローアップ調査を実施していたものの、調査結果が計画に反映されることはなく、また令和2年度からの新型コロナウイルス感染症の影響で各課の観光にかかわる事業が滞ったこともあり、調査そのものが行われなくなった。

※市（公共団体）のみでは実現できない項目も多く、庁内の照会のみでは進捗状況の把握は困難

⑥計画策定の方向性について

前述のとおり、現計画は柏市の観光資源を幅広く網羅しているものの、総花的であり、ターゲット等も設定されていない。



新計画では、
柏市として今後力を入れていく分野を、
「重点分野」として設定し、
「ターゲット層も明確化」していく



重点分野
(3本柱)

限りある予算の中で「選択と集中」を実践し、
メリハリをもって効果的に
観光振興政策を打ち出していく

⑦重点分野（3本柱）について

重点分野（3本柱）は以下のとおり

- ▶ **重点分野1** 手賀沼及び手賀沼周辺地域における観光振興
- ▶ **重点分野2** 柏駅周辺におけるタウンツーリズム
- ▶ **重点分野3** スポーツツーリズム・スポーツタウン柏

これらを「重点観光コンテンツ」として捉え、
重点的に観光振興政策を打ち出していく

⑧主な観光（地域）資源について

柏駅周辺	手賀沼周辺	柏の葉周辺	あけぼの山周辺
大型商業施設 （高島屋、マルイ等）	道の駅しょうなん	商業施設（ららぽーと 柏の葉、T-SITE等）	あけぼの山農業公園
ウラカシエリア （古着屋、雑貨屋等）	手賀の丘公園	県立柏の葉公園	布施弁天（紅龍山東海寺）
三協フロンテア柏スタ ジアム（柏レイソル ホーム）	手賀沼フィッシングセ ンター	アクアテラス	
ダブルデッキ周辺・駅 前歩行者天国でのイベ ント	柏・北柏ふるさと公園	こんぶくろ池自然博物 公園	
	旧手賀教会堂		
	果樹園、収穫体験農場		
	水上アクティビティ （カヌー、SUP）		

【その他】

旧吉田家住宅歴史公園、旧染谷家住宅など

⑨ 柏市観光基本計画の骨子案について

- ▶ 第1章 基本的な考え方
- ▶ 第2章 観光を取り巻く現状と課題
- ▶ 第3章 観光基本計画の方向性
- ▶ 第4章 取り組むべき事項（重点分野）
- ▶ 第5章 計画のスケジュール等

第1章 基本的な考え方①

【そもそも観光とは】

「観光」という言葉は、中国の四書五経の一つ「易経」の一文である「観国之光」が語源とされているが、それは「国の文化、政治、風俗をよく観察すること」、「国の風光・文物を外部の人々に示すこと」というような意味・語感を有していたといわれている

※国土交通省ホームページより

【柏市観光基本計画のテーマ】

①「つづくを、つなぐ」ため、かしわの光を観る

②「つづくを、つなぐ」から、かしわの光を観る

※「つづくを、つなぐ」は柏市の新スローガン

第1章 基本的な考え方②

- ・ 都心部に最も近い天然湖沼である手賀沼
- ・ 「商業のまち柏」を担う個性豊かな飲食・美美容・ファッション等の商業事業者が集う柏駅周辺
- ・ 多くのプロスポーツチームのホームタウン

「観る」「する」「楽しむ」いずれも体験可能で、柏の様々な地域資源は、まさに、柏の光である。その光をより一層輝かせ、また、新たな光を見出し、それぞれの地域資源と特性を活かしたまちづくりを、地域経済の活性化や地域資源の発掘及び磨き上げの視点で取り組んでいく。

交流人口の拡大による地域経済の活性化及び市民にとって「柏に生まれて良かった」「柏に住んで良かった」と感じられるようなまちづくりを進めていくことで、

➤ 柏市のブランドコンセプトである「つづくを、つなぐ」
ことを実現していくことを目的とする。

第2章 観光を取り巻く現状と課題

【構成案】

- ▶ 現計画における課題
- ▶ 現在の柏の地域資源の状況
- ▶ データに基づく移動分析・アンケート調査を踏まえた現状

第3章 観光基本計画の方向性

【構成案】

- ▶ 総論
- ▶ 新たな観光の方向性
- ▶ ターゲットの明確化
- ▶ 「重点分野」の設定

第4章 取り組むべき事項

【構成案】

- ▶ 重点分野1 手賀沼及び手賀沼周辺地域における観光振興
- ▶ 重点分野2 柏駅周辺におけるタウンツーリズム
- ▶ 重点分野3 スポーツツーリズム・スポーツタウン柏
- ▶ 重点分野以外の地域資源
 - 旧吉田家住宅歴史公園、旧染谷家住宅、旧手賀教会堂、あけぼの山農業公園等
- ▶ 観光関連政策との連携
 - ①文化財保存活用計画との連携
 - ②都市計画マスタープランとの連携
 - ③その他各種計画との連携

第5章 計画のスケジュール等

⑩ データに基づく移動分析・アンケート調査について

計画策定の基礎資料（課題の把握）として、東京理科大学との共同研究により本市の現状把握を行う。

調査は大きく以下の3つを予定

- ▶ 携帯電話位置情報を用いた人流調査・分析
- ▶ アンケート調査・分析
- ▶ SNS調査・分析

⑩ データに基づく移動分析・アンケート調査について

分析の目的と主な内容

目的

- 柏市における今後の観光施策等の推進のため、同市域内において人流調査その他の調査及び分析を行い、当該観光施策等に係る基礎資料を作成する

主な分析内容

- 携帯電話の位置情報データ分析、アンケート調査、SNS分析等を行う

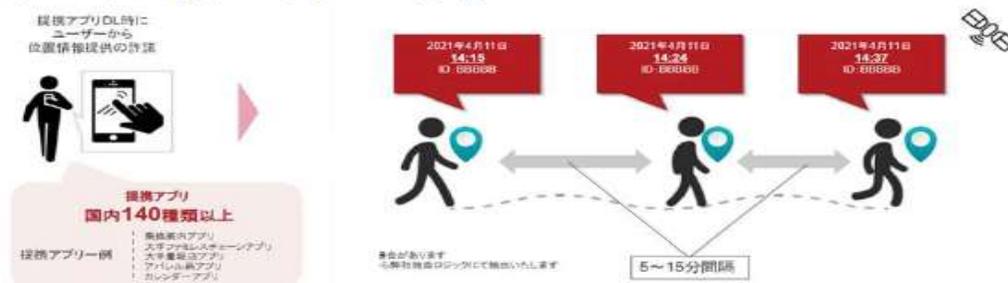


携帯電話位置情報を用いた人流調査・分析について

携帯電話の位置情報を利用した人流調査(1)

データの概要

- 個人の移動履歴が把握できる**デバイスロケーションデータ**（プログウォッチャー社）を用いて分析



データ取得項目

- ①位置情報データ（緯度/経度）※5分～15分間隔
- ②性年代（男女/20代以下、30代、40代、50代、60代以上）
- ③推定居住エリア
- ④移動手段判定（電車、徒歩、車、滞在）
- ⑤推定勤務地エリア

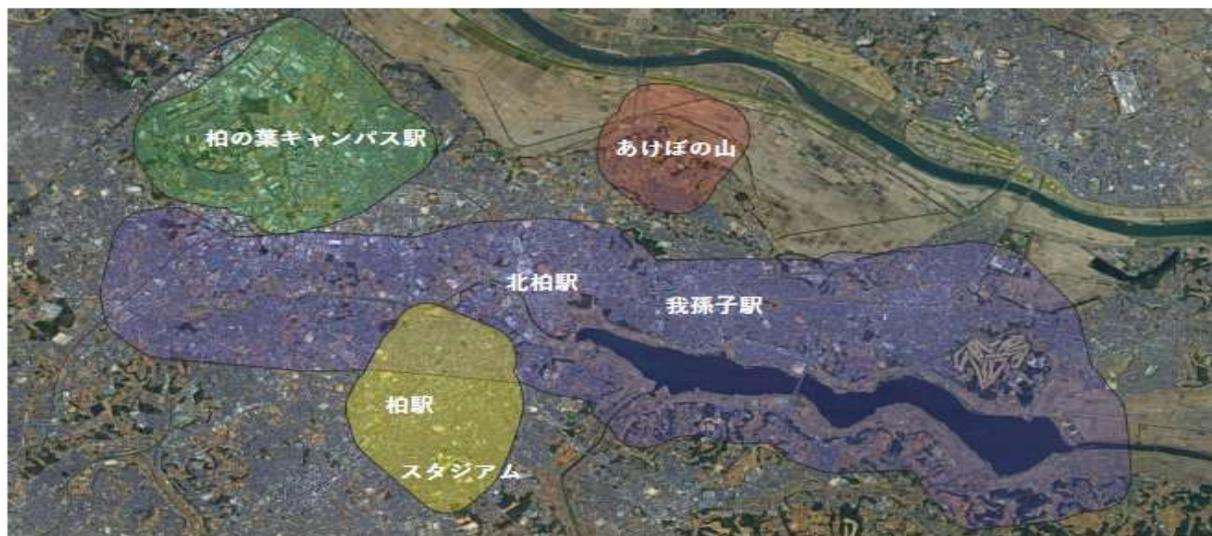
携帯電話位置情報を用いた人流調査・分析について

携帯電話の位置情報を利用した人流調査(1)

データの取得期間

- 任意の3週間(21日)を想定
- 指定した平日10日・休日10日など不連続でも可能

データ取得エリア



携帯電話位置情報を用いた人流調査・分析について

携帯電話の位置情報を利用した人流調査(2)

データの概要

- 指定したエリアの集計データが分析できるKDDI ロケーションアナライザーを用いて分析
- 指定した施設やエリアについての移動を詳細に把握することが可能
- デバイスロケーションデータと併せて分析
- 2023年5月～2024年2月の10か月間サブスクで購入
- 契約期間だけでなく、過去2年間の人流データの把握が可能



図 ロケーションアナライザーの分析例(KDDI紹介HPより)

アンケート調査・分析について

アンケート調査

アンケート調査の目的

- ・ 柏市の観光における意識面での課題抽出
- ・ 柏市の観光施策の展開検討

アンケート調査の対象地と目標回収数

- ・ 柏市の市民および来訪者に実施
- ・ 柏駅前の昼、柏駅前の夜、あけぼの山、柏の葉キャンパス駅前、道の駅しょうなん、手賀沼・大堀川周辺住民、Jリーグ観戦者に実施

調査対象	調査期間	市民	来訪者	合計
柏駅前(昼用)	6月～8月予定 土日・平日	300	300	600
柏駅前(夜用)	6月～8月予定 土日・平日	300	300	600
あけぼの山農業公園	6月～8月予定 土日・平日	300	300	600
柏の葉キャンパス駅前	6月～8月予定 土日・平日	300	300	600
道の駅しょうなん	6月～8月予定 土日・平日	300	300	600
手賀沼・大堀川周辺住民	6月～8月予定 土日・平日	600		600
日立柏サッカー場(ホームサポ)	6/3(vs札幌),6/24(vs新潟)	300		300
日立柏サッカー場(アウェイサポ)	7/8(vs湘南),8/12(vsC大阪)		300	300
有効回答者数 [N]	6月～8月予定 土日・平日	2,400	1,800	4,200

アンケート調査・分析について

アンケート調査

アンケート調査の方法

- 各施設での配布・その場での記入回収，もしくは後日の郵送での回収およびWEBツールでの回収(手賀沼・大堀川周辺住民には地域指定配布)

アンケート調査の内容

- 現計画での調査項目に，各観光地での観光施策の展開を狙った項目を追加

現計画での調査項目

柏市民向けアンケート	来訪者(柏市以外)向けアンケート
イベント情報の入手	イベント情報の入手
柏市のイメージ	柏市のイメージ
観光資源の利用頻度	観光資源の利用頻度
知る人ぞ知る観光スポット(自由記述)	過去3年での柏市の訪問頻度
観光資源への不満(自由記述)	柏市で行った場所1か所(自由記述)
柏駅周辺の観光への不満(自由記述)	柏市でよく行く主な場所1か所(自由記述)
あけぼの山・手賀沼周辺の不満(自由記述)	柏市のイメージ
今回の利用金額	今回の柏市での滞在時間
今回の訪問手段	今回の利用金額
友人知人に柏市を紹介したいか	今回の訪問手段
柏市以外に買い物や旅行で訪れる場所(自由記述)	柏市の再訪希望
性別	再訪希望の理由
年代	柏市以外に買い物や旅行で訪れる場所(自由記述)
今回の訪問での同行者	性別
職業	年代
柏市の居住年数	今回の訪問での同行者
住所	職業
	柏市の居住年数
	住所



中心市街地

回遊に関する質問項目など
夜の回遊行動や不安など

あけぼの山

公園内での過ごし方や求めることなど

道の駅しょうなん

道の駅内での過ごし方など
他の施設との連携など

手賀沼・大堀川

緑地が整備されていることの価値など
整備への希望など

Jリーグ観戦者

スタジアム往復時の回遊など
Jリーグ開催時に欲しい情報など

SNS調査・分析について

SNSの分析

Instagramの投稿からの柏市観光施設のイメージ分析

- Instagramは、人に見せたい画像が多く含まれていると考えられる
- #(ハッシュタグ)手賀沼などで検索
- 今後の柏市観光のイメージ戦略への検討を行う
- 「#手賀沼」では7.4万、「#手賀沼フィッシングセンター」では6,500
「#柏の葉」では12.4万、「#柏駅」では7.4万の投稿
- 投稿内容の画像分析，投稿内容のテキスト分析を行う
- 季節変動や時間変動についても分析

#手賀沼での投稿例



#道の駅しょうなんでの投稿例



⑪今後のスケジュールについて

内容	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
調査	■	■							
分析及び課題抽出		■	■						
素案作成※同時進行	■	■	■	■	■	■			
産業振興会議	■				■		■		
パブリックコメント								■	
計画策定完了									■
冊子印刷									■